

提 言 書

日 時 平成29年3月13日（月） 午後1時24分から午後2時56分まで
場 所 紀の川市役所 本庁4階 402会議室
出席者 仁藤 伸昌 箕輪 光芳 山中 智 野村 壮吾 山田 守彦
右梅 八世

審議事項

第2次紀の川市行財政改革集中改革プラン【改訂版】の進捗状況について

審議内容

平成29年度当初予算の概要及び財政収支見通し（平成29年3月時点）を把握したうえで、第2次紀の川市行財政改革集中改革プラン【改訂版】の進捗状況について審議を行いました。地方交付税の逡減が始まるなど、厳しい財政状況下ではありますが、健全な財政状況を目指しつつ、多様化する市民サービスに対応するため、歩みを止めることなく行財政改革の推進に取り組む必要があります。

そのような中、明確な数値目標に向けての具体的施策にも少なからず前進が見られているものと判断できました。

つきましては、下記のとおり委員会による提言を記しますので、今後の行財政改革への取り組みをはじめ、第3次行財政改革大綱及び集中改革プラン策定に際して反映されるようお願いいたします。

記

① 職員の定員管理について

職員適正化計画に基づき、合併以降、総職員数は計画どおり削減が進んでおり、行財政改革の推進を図る上で、人件費の削減による効果額は大きいものと理解します。

今後も業務量に応じた適正人員を把握した上で、市民サービスの低下を招かないよう、適切な定員管理に努めていただきたい。

② 外部委託（民営化）の推進について

限られた経営資源（財源、人員等）を効果的に配分する観点からも、行政と民間との役割分担を見極めながら、更なる委託の推進や民営化への移行など民間活力をより積極的・効果的に活用することで、簡素で効率的な行財政運営を実現していただきたい。

③ 公共施設マネジメント計画の推進について

公共施設マネジメント計画策定後の推進に当たっては、市民の理解、協力を得るためにも、公共施設の現状と課題、公共施設マネジメントの目標及び基本方針など公共施設に関する情報の積極的な発信を行い、さらに、庁内組織における体制の整備を図ることで公共施設マネジメント計画の積極的な推進に努めていただきたい。